

復職支援研修における標準プログラム

資料7

東京都看護職員地域確保支援事業

コース	看護師		助産師	
	3日	5日	3日	5日
プログラム	講義、院内見学、技術演習、外来・病棟見学実習		講義、院内見学、技術演習、産科外来・病棟見学実習	
1日目	AM	自己紹介・オリエンテーション・復職支援研修及びナースバンク登録に関する情報の確認 講義(最近の医療・看護の動向)		
	PM	講義(医療安全、感染管理)、外来・院内見学		
2日目	AM	講義・技術演習<事例を設定し指示に基づく実施> 1 採血、筋肉・皮下・静脈注射等 (1) 薬剤処方箋・指示の確認 (2) 必要物品の準備 (3) 患者確認 (4) 刺入部位の確認 (5) 駆血帯の扱い、刺入角度 (6) 針とルートの固定 (7) 点綴ルートの種類と滴下数の合わせ方 (8) 廃棄物処理 2 輸液ポンプの取り扱いなど (1) ポンプ専用ルートの種類とセッティング (2) 禁忌(フリーフロー等)事項など操作方法	【講義・技術演習(看護師・助産師)】指導体制・方法 1 研修生4名に対し1名の指導者を配置 2 準備 (1) 腕モデル(静脈・採血、筋注用等)※対人での針刺しは行わないこと (2) 椅子、注射台及びベッド (3) 輸液ポンプ (4) 車椅子、ストレッチャー、安楽枕 (5) その他、それぞれの技術項目に必要な物品を準備 3 デモンストレーション グループ毎もしくは全体で準備から終了まで 4 自己練習 繰り返し練習する時間を設ける。	
	PM	講義・技術演習 4 薬剤の知識 (1) 講義(与薬方法、確認、観察等) 5 フィジカルアセスメント	外来・病棟見学実習 1 病棟オリエンテーション (1) 病棟概要(特徴、構造、連携、医療機器等) (2) スタッフ紹介 (3) 主な疾患と看護、薬剤など (4) 主に使用する薬剤(点滴・内服薬)と注意事項	産科外来・病棟見学実習 1 病棟オリエンテーション (1) 病棟概要(特徴、構造、連携、医療機器等) (2) スタッフ紹介 (3) 主な疾患と看護、薬剤など (4) 妊婦健診の流れ、保健指導
3日目	AM	外来・病棟見学実習 2 援助の実際 (1) 環境整備・リネン交換 (2)VS測定、体位変換、移乗・移送 (3) 清潔援助(清拭、口腔ケア、足浴等) (4) 食事の援助、排泄の介助 3 検査等見学 (1) 検査に関連する処置の流れ (2) 検査に関する注意・禁忌項目等 (3) 検査前後の観察、ケア等 4 カンファレンス参加 ※カンファレンス後も時間があれば実習	産科外来・病棟見学実習 2 援助の実際 (1) 妊婦ケア 各週数の保健指導 (2) 産婦ケア 分娩間接介助の見学 分娩監視装置の装着と判読 第1期～第4期までの看護 (3) 褥婦ケア 授乳指導・退院指導・乳房ケア (4) 新生児ケア 出生時・入院時・退院時 (5) 産後検診・ケア	
	PM	【外来・病棟見学実習(看護師)】 指導体制・方法 1 1名の研修生に1名の指導者を配置 2 看護師長もしくは研修担当者がオリエンテーションを実施 3 指導看護師に付いて一緒に援助を行う 4 検査・処置は見学とする ※援助の際は必ず患者に承諾を得る ※所属の看護師の指導のもとで行う	【産科外来・病棟見学実習(助産師)】 指導体制・方法 1 1名の研修生に1名の指導者を配置 2 助産師に付いて一緒に援助、又は見学を行う 3 分娩があれば適宜見学を行う 4 検査・処置は見学とする ※援助の際は必ず患者に承諾を得る ※所属の看護師の指導のもとで行う	
4日目	AM	交流会・就業相談・アンケート記入		
	PM	交流会・就業相談・アンケート記入		
5日目	AM	交流会・就業相談・アンケート記入		
	PM	交流会・就業相談・アンケート記入		

*原則として毎日、研修終了前に1日の振り返りを行う。

		1日随時(看護師・助産師)	
プログラム	講義・院内見学等		
1日目	AM	自己紹介・オリエンテーション・復職支援研修及びナースバンク登録に関する説明 講義(最近の医療・看護の動向、医療安全、感染管理)	
	PM	外来・病棟見学(助産師コースは産科外来・産科病棟)、看護技術演習(採血、筋肉・皮下・静脈注射等) ※アンケート記入	